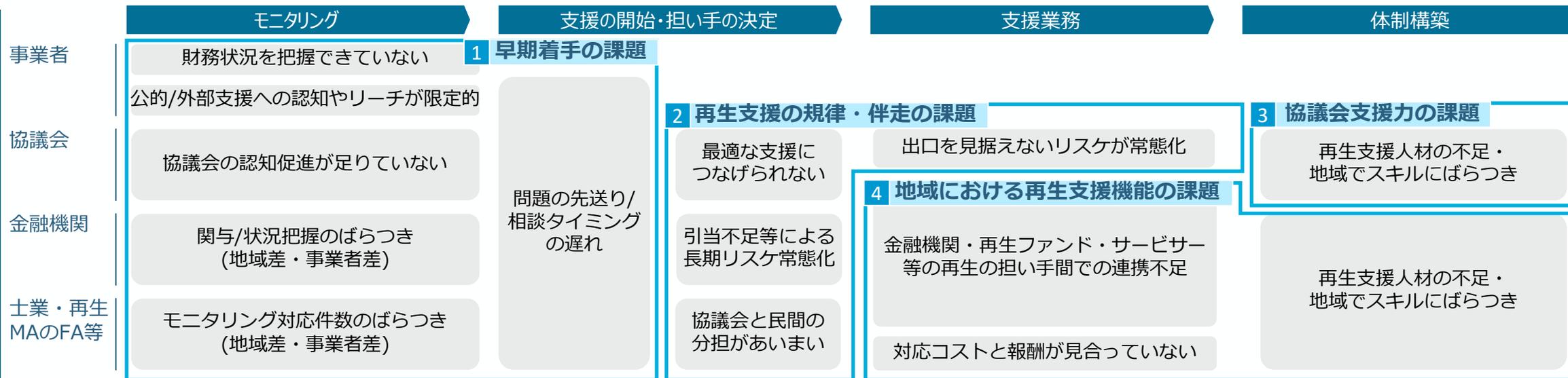


「中小企業における事業再生支援のあり方検討会」報告書（概要）

背景と目的

- 中小企業活性化協議会（以下、協議会）は、2003年の発足当時、主に**債権放棄等の抜本再生に向けた金融調整を行う公的機関の位置付け**であったが、リーマンショックや新型コロナ等でBS・PL両面が毀損する企業が増加し、**次第に支援メニューや役割を拡大**。金融調整に加え、収益力改善や民間機関への助言（405事業）など、**再生支援全般にわたるシームレスな取組を実施してきた**。
- 約20年が経過する中で、中小企業を取り巻く事業環境等は大きく変化。**着手の遅れにより事業や財務が大きく毀損した案件や、小規模案件、スポンサー案件の増加の一方、協議会リソースの限界、中小版GL等の私的整理の拡がり**といった実情を踏まえ、**再生支援全般や協議会に求められる「あり方」を改めて整理するべく**本検討会を開催。

実態と課題



対応の方向性

- 事業活動が継続困難となる前に**支援の早期着手に向けた予兆管理や再生支援の規律を強化**し、協議会は「事業再生」支援を重点的に能力を発揮。各地域での支援のばらつきに対して**協議会支援力を強化**すると同時に、民間（金融機関や士業等の支援専門家）の再生支援を拡大し、**地域における再生支援機能を強化**することで、「**成長型再生**」に向けた取組を進めるべき。

1 早期着手に向けた予兆管理強化等

- 1 事業者自身による財務状況の可視化
- 2 支援機関・金融機関による事業者へのモニタリング・予兆管理の強化に基づく早期持ち込み促進
- 3 協議会事業に関する事業者への認知拡大による早期持ち込み促進

2 再生支援の規律・伴走強化

- 4 事業者の状況に応じた適切な支援メニューの提供
- 5 再生支援の出口の明確化
- 6 再生計画の実効性向上等に向けた伴走支援強化

3 協議会支援力強化

- 7 全国本部による各協議会への指導・育成機能の強化
- 8 民間支援の拡大に向けた助言機能強化
- 9 協議会のハブ機能の強化
- 10 事業者、認定経営革新等支援機関の利便性の向上及び協議会業務の効率化

4 地域における再生支援機能強化

- 11 金融機関の再生支援への意識・対応強化
- 12 地域の再生支援人材の育成強化
- 13 他機関連携の強化
- 14 再生M&A案件の促進に向けた環境整備

対応の方向性と具体的施策

- ①事業活動が継続困難となる前の支援の早期着手に向けた予兆管理、②再生支援の規律を強化し、「事業再生」支援での協議会の重点的な能力発揮、③協議会支援力の強化、④民間支援専門家支援拡大を通じた地域における再生支援機能を強化することで、「成長型再生」に向けた取組を進めるべき。

| 対応の方向性 | 具体的施策 | 協議会等※ | 金融機関等※ | 土業等※ |
|---|--|-------|--------|------|
| 1 早期着手に向けた予兆管理強化等 | 1 事業者自身による財務状況の可視化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 2 支援機関・金融機関等による事業者へのモニタリング・予兆管理の強化に基づく早期持ち込み促進 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 3 協議会事業に関する事業者への認知拡大による早期持ち込み促進 | ✓ | | |
| 2 再生支援の規律・伴走強化 | 4 事業者の状況に応じた適切な支援メニューの提供 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 5 再生支援の出口の明確化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 6 再生計画の実効性向上等に向けた伴走支援強化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| 3 協議会支援力強化 | 7 全国本部による各協議会への指導・育成機能の強化 | ✓ | | |
| | 8 民間支援の拡大に向けた助言機能強化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 9 協議会のハブ機能の強化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 10 事業者、認定経営革新等支援機関の利便性の向上及び協議会業務の効率化 | ✓ | | |
| 4 地域における再生支援機能強化 (人材育成/再生M&A環境整備) | 11 金融機関の再生支援に向けた意識・対応強化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 12 地域の再生支援人材の育成強化 | ✓ | | ✓ |
| | 13 他機関連携の強化 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 14 再生M&A案件の促進に向けた環境整備 | ✓ | ✓ | ✓ |

※ 協議会等とは、事業承継・引き継ぎ支援センター等の公的支援機関含み、金融機関等とは、政府系金融機関含み。各対応案に対する実行主体の担い手と関連する担い手は、「 実行する担い手  関連する担い手」と表示。